

2008年(平成20年)10月6日 月曜日



名古屋栄ロータリークラブのサークル活動で「読書サロン」の世話人の一人であるハナノキ会長の池山健次さん。「二カ月に一回、食事しながら本の内容について、経営者らと楽しく議論している。ストレス解

消には最高だね」と笑顔をみせる。毎回、テーマとなる本は異なり、そのジャンルは文芸、学、宗教、歴史など多岐に渡る。最近では梅原猛著「梅原猛の授業 仏教」が題材となった。梅原氏が中材として、読書サロンでも学生に仏教の授業を行う内大いに議論が盛り上がった。「仏教について分かりやすく説明してあり、仕事

が多忙で、宗教にあまり触れることがない大人にも大変参考になった」という。例えば、中学生の「仏教をなぜ信仰するのか。あるいはしないのか」について、大人も考ええる題材として、読書サロンでも

● 読書サロンで知的な論議

(北名古屋)